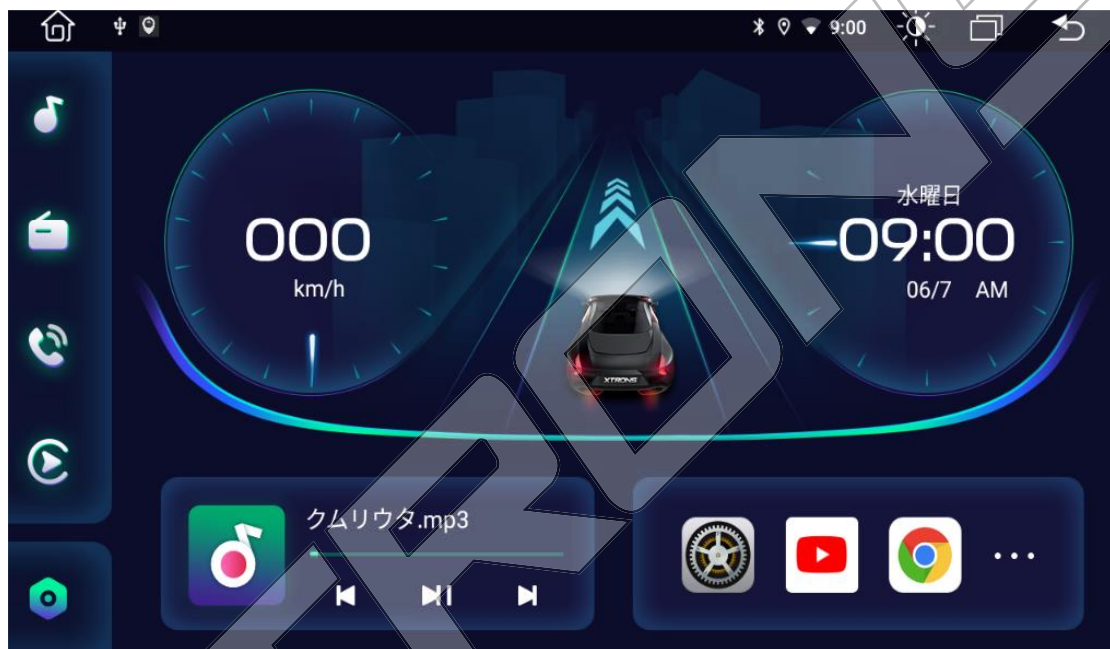


XTRONS



TIEシリーズ取扱説明書



型番：TIE124/DIE123L/TIE723L

このたびは XTRONS 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みになり、記載された内容に従って正しくお使い
ください。お読みになった後も必要なときに、すぐご覧になれるよう大切に
保管してください。

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。






■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。






 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

接続・取り付け

 警告
 禁止 本機は、DC12V \ominus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
 禁止 エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。
 禁止 前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない 交通事故やケガの原因となります。
 禁止 電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない 電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

 警告
 禁止 アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない 視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。
 強制 取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず取付専門店で依頼する 取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。
 強制 作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。
 強制 作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する 車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

注意



指のケガに
注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する
ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

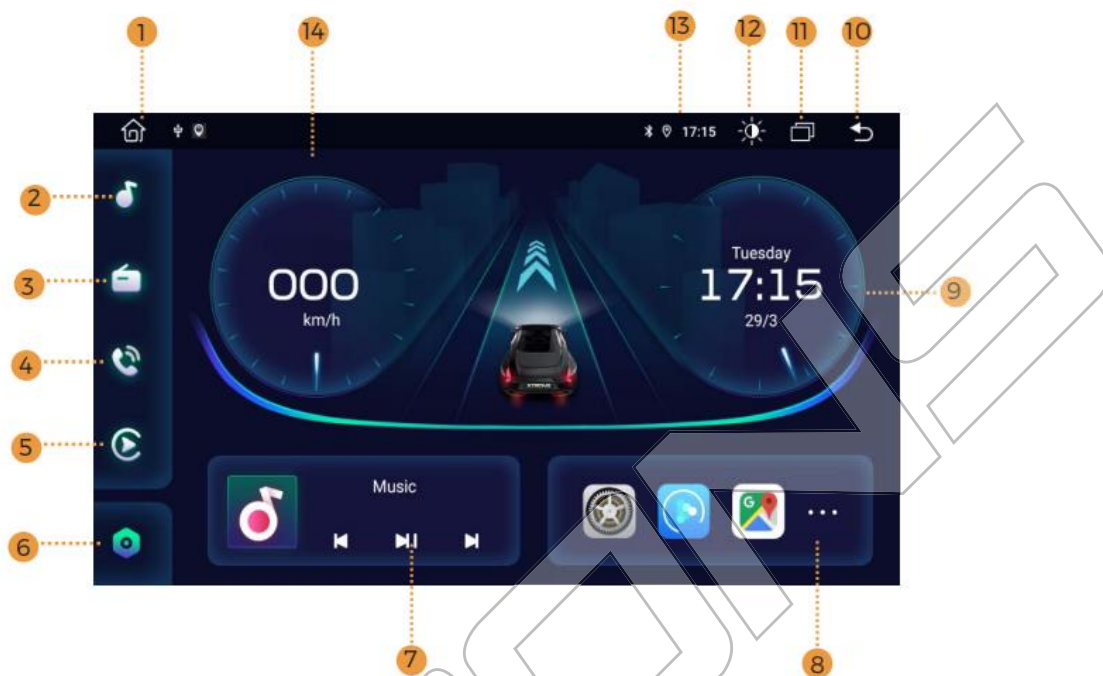
目次

ホーム画面	1
配線図	2
よく使う機能の設定について	5
ラジオ	8
USB / SD	9
AUX 入力	10
テレビ視聴	10
Bluetooth	13
ブルートゥー音楽	15
Carplay/AndroidAuto接続	15
ミラーリング	18
ナビゲーション	20
インターネット接続	21
4G LTE 通信	22
OBD2 (オプション品)	24
DVR (オプション品)	24
TPMS (オプション品)	25
設定	26
故障かな?と思ったら	33
連絡先	35

使用前の注意：

本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。詳しくは販売店の商品ページをご参考ください。

ホーム画面



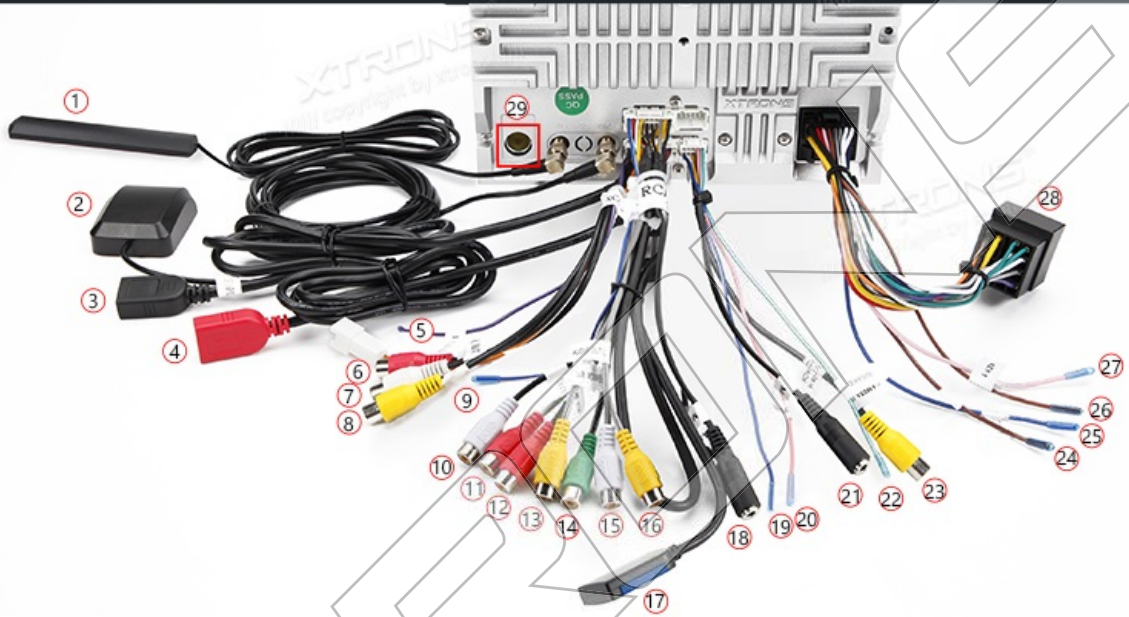
- | | |
|------------------------|-------------|
| ① ホーム | ⑧ 最近利用したアプリ |
| ② 音楽 (USB/SD) | ⑨ 日付/時刻 |
| ③ ラジオ | ⑩ 戻る |
| ④ Bluetooth通話/音楽 | ⑪ 最近利用したアプリ |
| ⑤ Carplay/Android Auto | ⑫ 明るさ |
| ⑥ 設定 | ⑬ 時間表示 |
| ⑦ 音楽 (USB/SD) | ⑭ スピード表示 |

配線図

実際の製品の配線は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。詳しくは販売店の商品ページをご参考ください。

TIE124

配線図



- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 4Gアンテナ | 11. 音声出力 (前右) | 21. JT2HD用タッチ連動 |
| 2. GPSアンテナ | 12. 音声入力 (右) | 22. ブレーキ信号用配線 |
| 3. USBポート | 13. ビデオ入力 | 23. バックカメラ映像入力 |
| 4. Carplay用USBポート | 14. サブウーファー出力 | 24. ステアリングコントロールKEY1(5V) |
| 5. カメラ電源12V | 15. 音声出力 (前左) | 25. オートアンテナ |
| 6. 音声出力 (後右) | 16. フロントカメラ映像入力 | 26. ステアリングコントロールKEY2(5V) |
| 7. 音声出力 (後左) | 17. SIMカードスロット | 27. リバース信号用配線 |
| 8. 同軸デジタル出力 | 18. 外付マイク用端子 | 28. ISO電源ケーブル |
| 9. アンプコントロール | 19. WiFiアンテナ | 29. ラジオアンテナポート |
| 10. 音声入力 (左) | 20. カメラ電源12V | |

ISO電源ケーブル

- 黄：バッテリー電源プラス極に繋ぐ
- 黒：アース・バッテリー電源マイナス極に繋ぐ
- 赤：ACC・アクセサリ電源に繋ぐ
- オレンジ：イルミネーション
- 紫：後右スピーカー+
- 紫・黒：後右スピーカー-

- 灰色：前右スピーカー+
- 灰色・黒：前右スピーカー-
- 白：前左スピーカー+
- 白・黒：前左スピーカー-
- 緑：後左スピーカー+
- 緑・黒：後左スピーカー-

DIE123L

配線図



- | | | |
|---------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 4Gアンテナ | 11. 音声入力 (左) | 21. カメラ電源12V |
| 2. GPSアンテナ | 12. 音声入力 (右) | 22. バックカメラ映像入力 |
| 3. 音声出力 (後右) | 13. 音声出力 (前右) | 23. Carplay用USBポート |
| 4. 音声出力 (後左) | 14. アンプコントロール | 24. USBポート |
| 5. 同軸デジタル出力 | 15. フロントカメラ映像入力 | 25. ステアリングコントロールKEY1(5V) |
| 6. カメラ電源12V | 16. 外付マイク用端子 | 26. リバース信号用配線 |
| 7. (無効コネクタ) | 17. SIMカードスロット | 27. ステアリングコントロールKEY2(5V) |
| 8. ビデオ入力 | 18. ブレーキ信号用配線 | 28. オートアンテナ |
| 9. 音声出力 (前左) | 19. WiFiアンテナ | 29. ISO電源ケーブル |
| 10. サブウーファー出力 | 20. JT2HD用タッチ連動 | 30. ラジオアンテナポート |

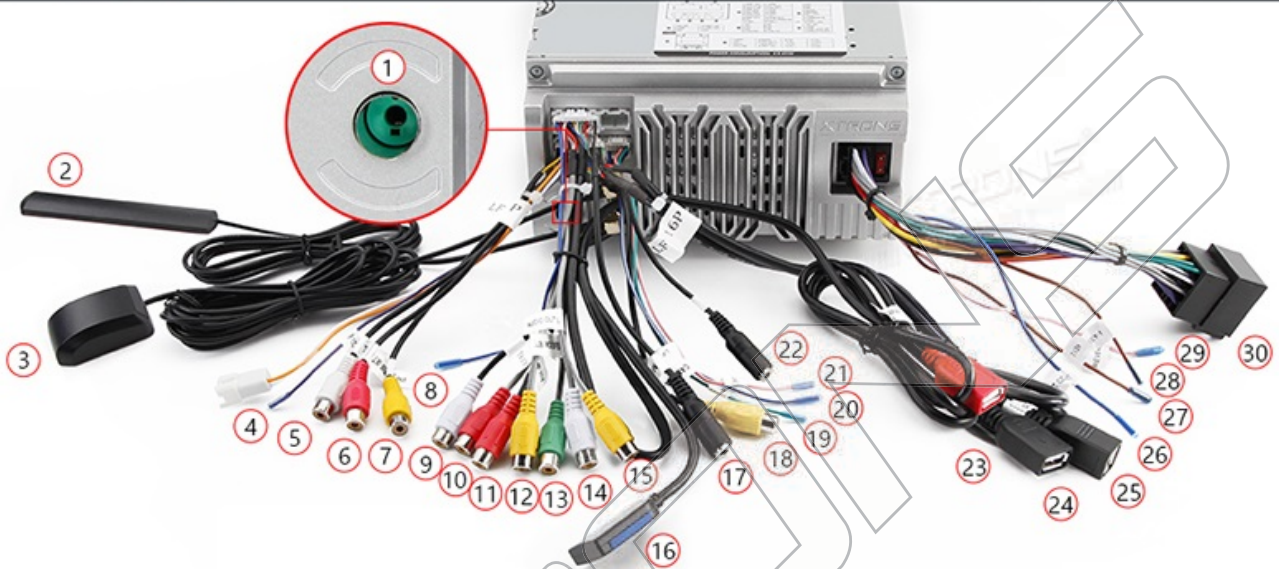
ISO電源ケーブル

黄: バッテリー電源プラス極に繋ぐ
 黒: アース・バッテリー電源マイナス極に繋ぐ
 赤: ACC・アクセサリ電源に繋ぐ
 オレンジ: イルミネーション
 紫: 後右スピーカー+
 紫・黒: 後右スピーカー-

灰色: 前右スピーカー+
 灰色・黒: 前右スピーカー-
 白: 前左スピーカー+
 白・黒: 前左スピーカー-
 緑: 後左スピーカー+
 緑・黒: 後左スピーカー-

TIE723L

配線図



- | | | |
|---------------|-----------------|--------------------------|
| 1. ラジオアンテナポート | 11. 音声入力 (右) | 21. カメラ電源12V |
| 2. 4Gアンテナ | 12. ビデオ入力 | 22. JT2HD用タッチ連動 |
| 3. GPSアンテナ | 13. サブウーファー出力 | 23. Carplay用USBポート |
| 4. カメラ電源12V | 14. 音声出力 (前左) | 24. USBポート1 |
| 5. 音声出力 (後左) | 15. フロントカメラ映像入力 | 25. USBポート2 |
| 6. 音声出力 (後右) | 16. SIMカードスロット | 26. オートアンテナ |
| 7. 同軸デジタル出力 | 17. 外付マイク用端子 | 27. ステアリングコントロールKEY1(5V) |
| 8. アンプコントロール | 18. バックカメラ映像入力 | 28. ステアリングコントロールKEY2(5V) |
| 9. 音声入力 (左) | 19. プレーキ信号用配線 | 29. リバース信号用配線 |
| 10. 音声出力 (前右) | 20. WiFiアンテナ | 30. ISO電源ケーブル |

ISO電源ケーブル

- 黄: バッテリー電源プラス極に繋ぐ
- 黒: アース・バッテリー電源マイナス極に繋ぐ
- 赤: ACC・アクセサリ電源に繋ぐ
- オレンジ: イルミネーション
- 紫: 後右スピーカー+
- 紫・黒: 後右スピーカー-

- 灰色: 前右スピーカー+
- 灰色・黒: 前右スピーカー-
- 白: 前左スピーカー+
- 白・黒: 前左スピーカー-
- 緑: 後左スピーカー+
- 緑・黒: 後左スピーカー-

よく使う機能の設定について

① 画面の英語表示を日本語に変更する

設定方法：settings → system → languages&input → languages → Add Language の順にタップします。「Add Language」から日本語を追加したら、1番上にドラッグしてください。日本語が1番上になると同時に表示が日本語に変わります。

② ラジオの設定

ホーム画面の【設定】→【カーインフォティメント】→【端末情報】→右側の設定マーク→パスワード：8878を入力→【Radio】→【Zone】を「5 Japan」に選定して、画面右側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。

商品は自動的に再起動します。再起動後、ラジオの周波数が設定完了です。

③ 走行中に SD/USB 動画/Youtube などネット動画を見る設定

手順：【設定】→【カーインフォティメント】→【ビデオ】→【運転中ビデオを見るのが禁止されます】を「オフ」に選定
設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

④ リセット/初期化の設定方法：

リセット：

TIE124：本体正面の「GPSCARD」スロットと「SDCARD」スロットの真ん中にRSTピンホールが見えます。

TIE723L/DE123L：モニター左下にRSTピンホールが見えます。

それを細長いもので軽く押ししてください。その後機体を再起動してください。

初期化：【設定】→【カーインフォティメント】→【端末情報】→右側の設定マークを押して→パスワード：8878を入力→【Erase all content】→【OK】の順にタッチしてください。そうすると、商品が初期化され、自動的に再起動されます。

⑤ 起動ロゴの変更の方法：

カーメーカーロゴを変更する場合、お客様側で画像を用意する必要があります。ロゴの画像は、ピクセルサイズが1024*600までのJPGファイルがおすすめです。(DIE123Lの場合、1280*720までのファイルがおすすめです。)

設置方法は下記のとおりです。

- 1、画像ファイルをUSB/SDカードの**ルートディレクトリ**に入れて、商品側にUSB/SDカードを差し込みます。
- 2、【設定】→【カーインフォテイメント】→【一般】→【起動ロゴ】→パスワード「5678」を入力して、LOGO設定画面に入ります。
- 3、左側の検索アイコンを押して、画像ファイルを選び、「Sure to update」提示が出て、「OK」をタッチすれば設置完了です。

⑥ 日付と時間の設定方法：

【設定】－【システム】－【日付と時刻】－【日付と時刻の自動設定】項目の「GPSから提供された時刻を使用する」を選びください。

それから「タイムゾーンの選択」を「GMT+9：00 日本標準時」に選定して下さい。

***日付と時刻画面に「タイムゾーンの自動設定」の項目（ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する）をオフにしてください。**

オフにすると、タイムゾーンの選択が出来ます。

それから「タイムゾーンの選択」を「GMT+9：00 日本標準時」に選定して下さい。

添付動画をご参照ください。

<https://youtu.be/Vnwjy5AptJw>

⑦ バックカメラの映像は、左右転倒時、正常に戻る設定方法：

【設定】→【カーインフォテイメント】→【端末情報】→右側の設定マーク→パスワード：8878を入力→【BackcarSetup】→【Camera mirror】を「Normal」に選定して、画面右側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。

商品は自動的に再起動します。再起動後、バックカメラの映像は、正常に戻ります。


⑧ 弊社 CAM005Y/CAM009Sカメラをご利用時、配線が正しく接続しても、バック映像が映らない場合、調整する方法：

【設定】 → 【カーインフォティメント】 → 【端末情報】 → 右側の設定マーク
→ パスワード：8878を入力 → 【BackcarSetup】 →
CAM005Yの場合、【CamType】を「0 CVBS」に選定して、
CAM009Sの場合、【CamType】を「1 AHD」に選定して、
画面右側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。
商品は自動的に再起動します。再起動後、バックカメラの映像は、正常に映ります。

⑨ 壁紙の変更：

ホーム画面（アイコン以外のところ）を長く押して、壁紙の設定アイコンがホーム画面の下側に出て、それを押して、壁紙の選択ができます。

⑩ UI 切替の設定方法：

ホーム画面の  「Topic switch」アイコンをタッチ → お気に入りのUI 設計を選び、画面上側のホームページを設定するをタッチしてください。そうすると、テーマが切り替えられます。

ラジオ

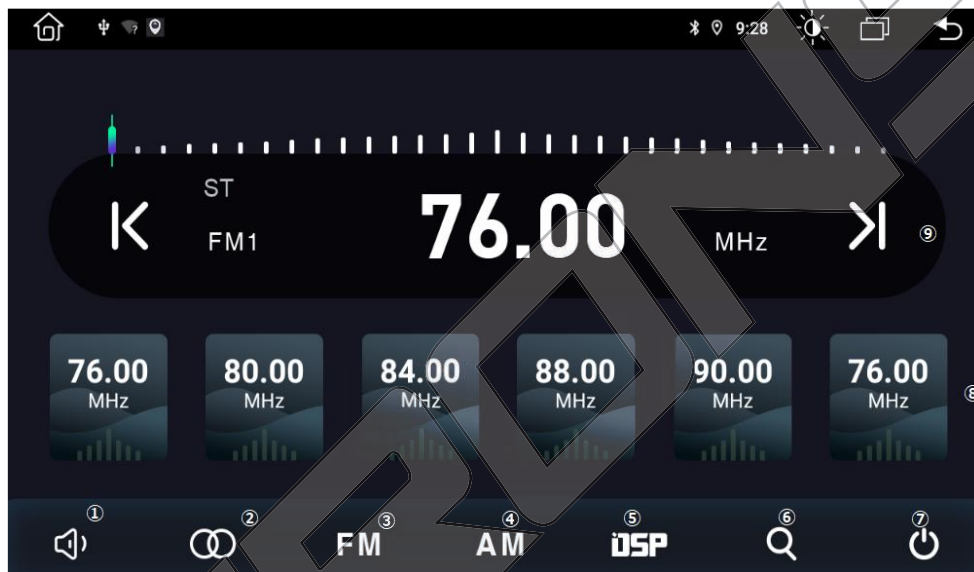
*ラジオが聞けるように、まず、ラジオの受信地域を設定してください。

設定方法：

ホーム画面の「設定」→カーインフォティメント→端末情報→右側の設定マーク→パスワード：8878を入力→Radio→Zone項目を「5 Japan」に選定して、画面右側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。

商品は自動的に再起動します。

再起動後、ラジオの周波数が設定完了です。



- ① 音量調整
- ② モノラルFMとステレオFMの切り替え「ST」記号は、ラジオがステレオ受信モードになっていることを表示します。
- ③ FMバンド (FM1, FM2 or FM3)
- ④ AMバンド (AM1 or AM2)
- ⑤ DSP音声効果調整
- ⑥ 周波数自動サーチ
- ⑦ ラジオOFF
- ⑧ 放送局リスト
保存したい枠を2秒以上タッチすると、受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。
- ⑨ 手動周波数サーチ

映像再生のご注意： (USB/SD/AUX入力/ネット動画)

安全のため、普通に走行中にはテレビやビデオ映像が表示されません。

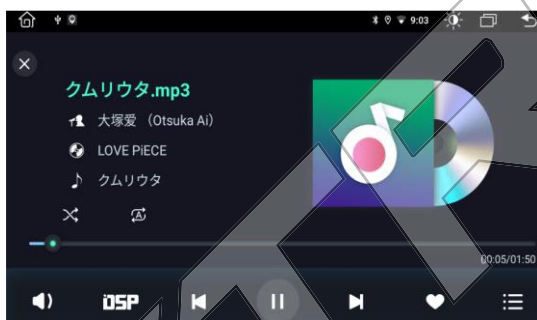
走行中に SD 動画/ネットの映像などを映るように、まず下記のように設置してください。

手順：設定→カーインフォテイメント→ビデオ→【**運転中ビデオをを見るのが禁止されます**】を「オフ」に選定

設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

USB / SD

USB メモリー/SD カードを挿入して、保存された音楽ファイル、画像ファイルや映像ファイルを再生または表示できます。



♪USB/SD の最大容量は、64GB までです。

♪音楽ファイル形式：MP3 /WAV / WMA / AAC

♪動画形式：MP4/MOV/MPEG/AVI/WMV/DIVX/ RMVB/RV

ご注意：

- ① USB2.0 対応可能で、USB3.0 対応保証がしかねます。
- ② USB/SD の音楽や動画を再生できるように、USB/SD のファイルシステム FAT/FAT32 に設定してください。
- ③ 上記の形式でも、コーデックによって、対応できない場合もありますが、ご了承下さい。

AUX 入力

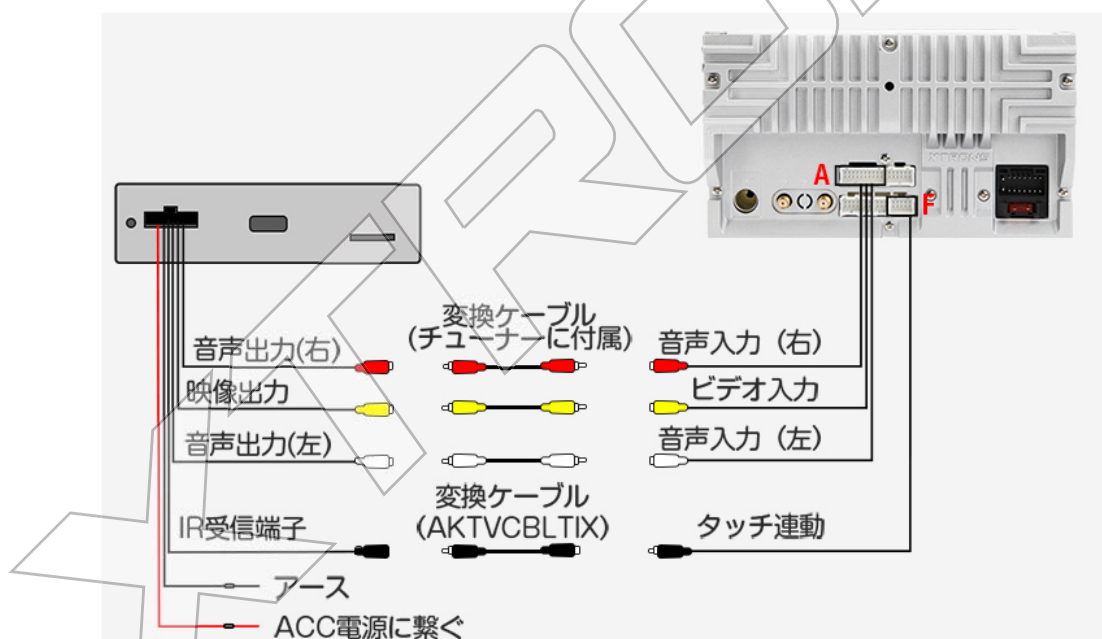
RCA ケーブルで外部機器と接続する場合、画面の「AV 入力」を押すと、外部入力モードに入り、外部入力映像/音声が視聴できます。

テレビ視聴

本商品には、外付け地デジチューナーを取り付けば、テレビを楽しむことができます。

この機能は弊社のJT2HD（別売り）のみ対応できます。ご注意ください。

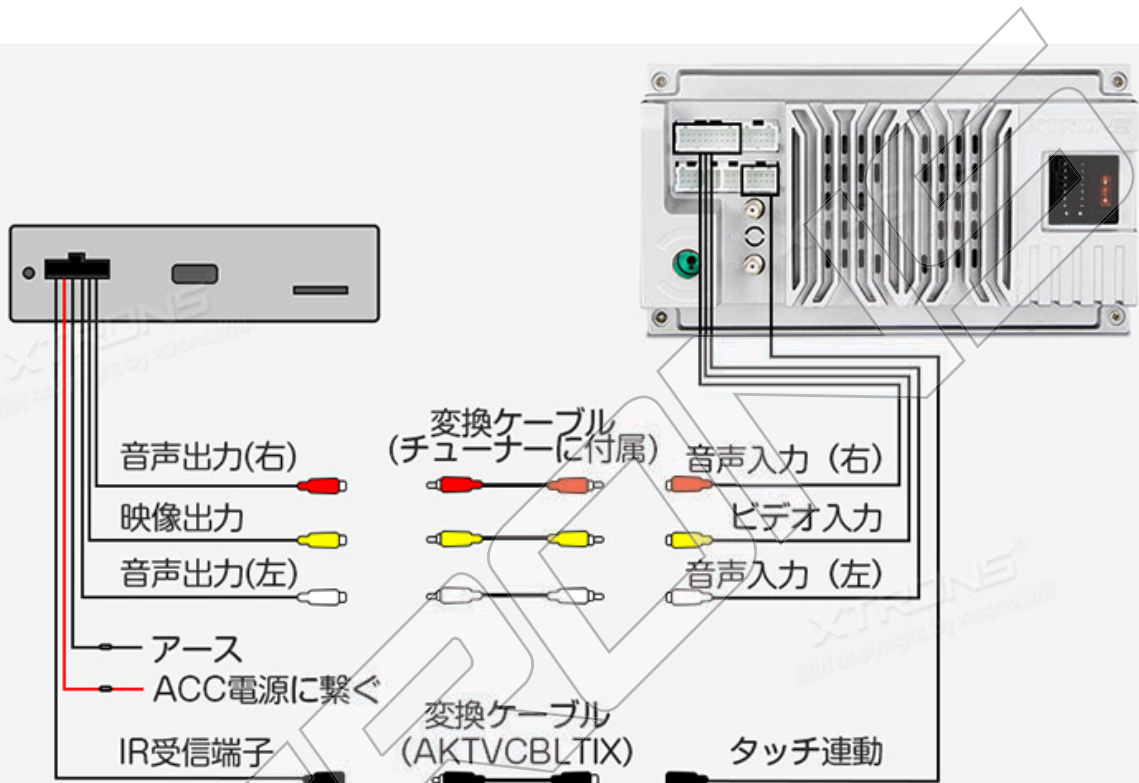
TIE124とJT2HD（別売り）



本機のRCAケーブル中の赤/黄/白入力端子を変換ケーブル経由で、チューナー側の赤/黄/白出力端子に接続し、黒いタッチ連動端子を変換ケーブル経由で、チューナー側のIR受信端子（3.5mm黒いコネクタ）に接続する。

※上記の接続方法でJT2HDのリモコンでテレビの操作ができなくなり、タッチ操作のみになります。ご注意ください。

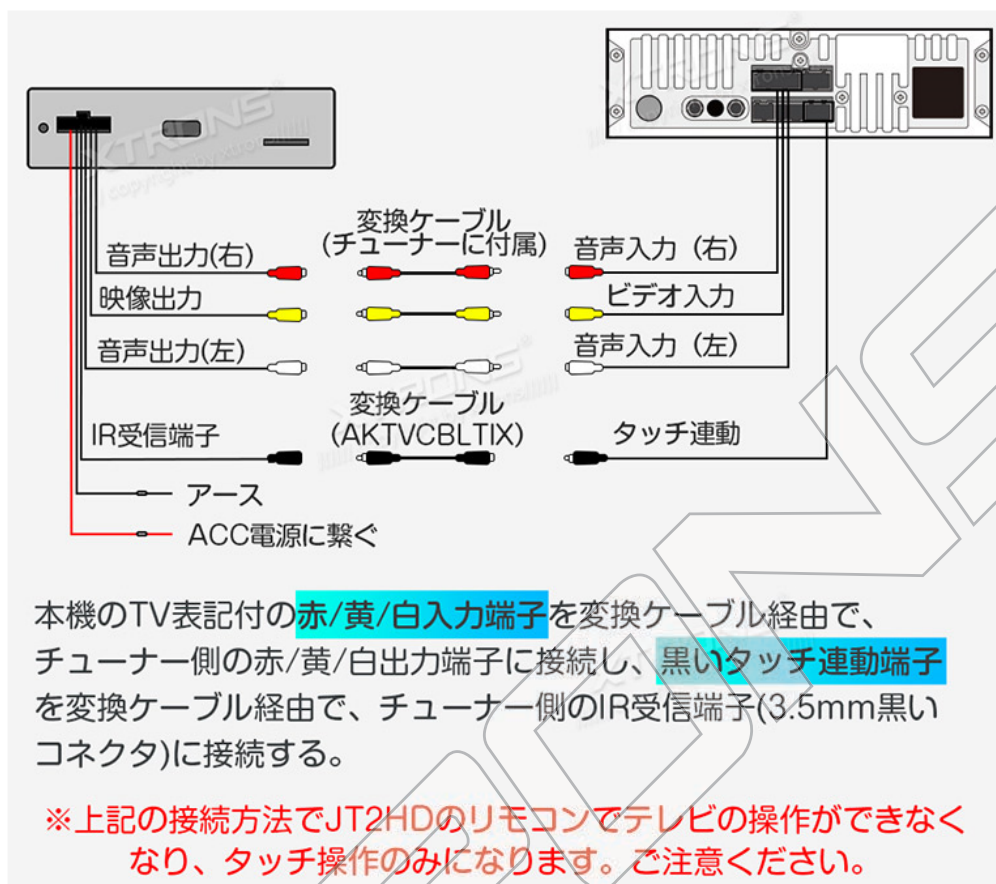
TIE723LとJT2HD（別売り）



本機のTV表記付の赤/黄/白入力端子を変換ケーブル経由で、チューナー側の赤/黄/白出力端子に接続し、黒いタッチ連動端子を変換ケーブル経由で、チューナー側のIR受信端子(3.5mm黒いコネクタ)に接続する。

※上記の接続方法でJT2HDのリモコンでテレビの操作ができなくなり、タッチ操作のみになります。ご注意ください。

DIE123LとJT2HD（別売り）



チューナーは、上記配線接続後、本機の設定も必要です。

設定手順：

ホーム画面の「設定」→「カーインフォティメント」→「端末情報」→右側の設定マーク（パスワード：8878）を押します。

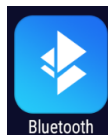
まずは「Menu Icon」をタッチ、左側のリストにある「CMMB」を2回タップして、「CMMB」を画面の右側に移動します。

次は前の画面戻して、「Others」をタッチし、「dtv ch」項目を「AV入力」にします。

上記設置後、「Save」をタップ、再起動提示に「reboot」を押すと、ナビが自動的に再起動します。

再起動後、メニュー画面に「DTV」のアイコンが出て、アプリに入り、番組をスキャン完了後、テレビが見えます。

ブルートゥース



本機とスマートフォンを Bluetooth 接続すると、ハンズフリー通話機能が使用できます。

※ Bluetooth 対応端末でも、機種によっては本機と接続に制限が発生する場合があります。

ご注意：

安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。

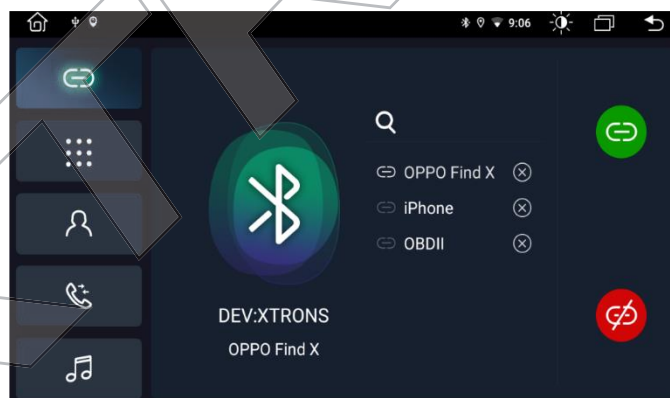
※Bluetooth 対応のスマートフォンを御用意下さい。

機種によっては本機との接続に制限が発生する場合がありますので、ご注意下さい。




1、ペアリング

スマホからペアリングの場合：

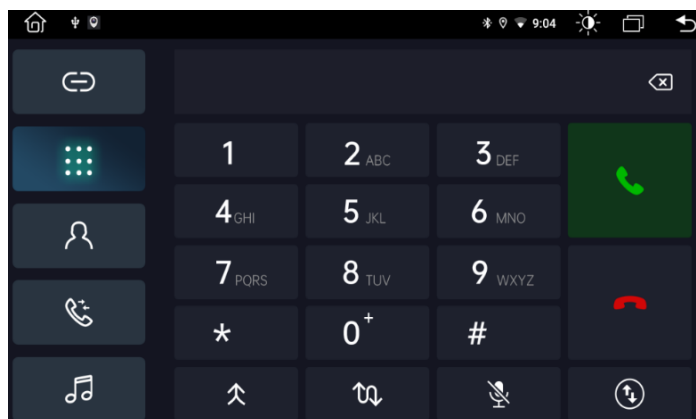
- Bluetooth 対応デバイスを本機の 1m以内に置きます。
- デバイスの Bluetooth 機能を ON にします。
- スマホの使用可能なデバイスリストから本機のデバイス名「XTRONS」をタップします。



本機からスマホ信号とペアリングの場合：

画面右上に検索アイコン  をタッチして、[利用可能なデバイス]リストでデバイスを選定し、 をタップしてペアリングを行います。 をタップして接続解除をします。

2、通話（ダイヤル）



電話番号を入力して電話をかけます。電話帳から連絡先を選択して電話をかけることもできます。

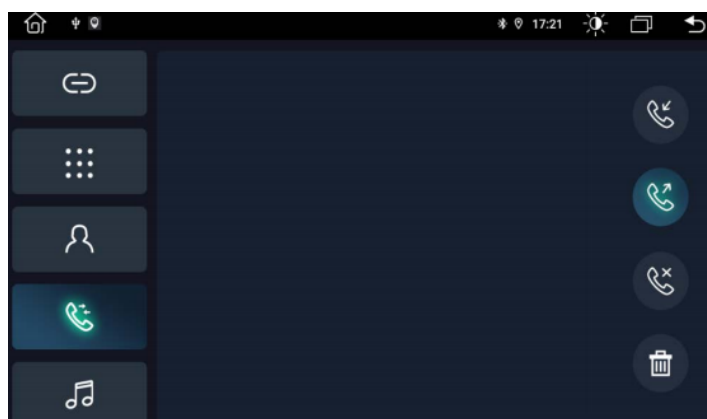
3、電話帳



右側の上から2番目のダウンロードアイコンをタップして、Bluetooth デバイスの連絡先を同期します。

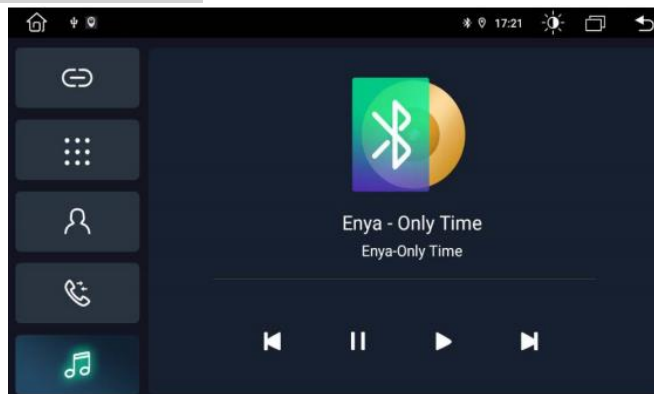
※スマホで「連絡の共有」を有効にしてください。

4、最近の通話履歴



最近の通話履歴には着信、不在着信、発信の履歴が表示されます。

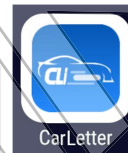
5 ブルートゥース音楽



Bluetooth 接続が確立したら、Bluetooth 画面で「BT 音楽」アイコンをタップすると、Bluetooth 対応デバイスに保存されている音楽を本機で再生できます。Bluetooth 対応デバイスから音楽再生を操作してから、本機のBluetooth 音楽画面で操作ができます。

ご注意：スマホの機種によっては、本機との接続に制限が発生する場合があります。

Carplay/Android Auto



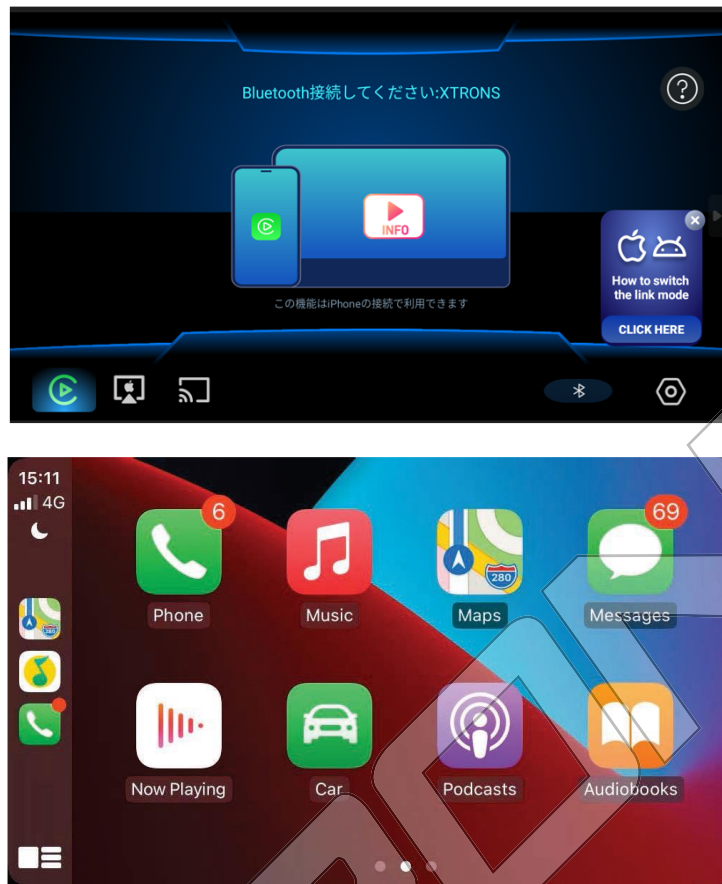
Carplay/Android Auto連携専用アプリ「CarLetter」は、出荷時設定は有効になっています。もしホーム画面に「CarLetter」アプリが出ない場合、下記のように設定ください。

【設定】→【カーインフォティメント】→【端末情報】→右側の設定マークを押して→パスワード：8878を入力→「Others」を選び→「AUTOLink」項目を「2 CarLetter」に選定して、画面右上側の「Save」をタッチして、「Reboot」をタッチしてください。商品は自動的に再起動します。再起動後、「CarLetter」アプリがホーム画面に出ます。

CarLetterアプリを開け、左下のアイコンをタッチして、Carplay/Android autoとミラーリングの切り替えができます。



Carplay（無線接続のみ対応）




iPhoneの無線接続の手順：

- ① iPhone側のモバイルデータ通信を使う。（4G回線のみ対応可）
- ② iPhoneとカーナビのBluetooth機能とペアリングする。
- ③ Bluetooth接続後、ホーム画面のCarLetterアプリが自動的に起動します。iPhone側にCarPlay利用の許可の表示が出て、OKにすれば、iPhone画面がナビに表示されます。（動画アプリが対応できません）

ご注意：

- a) Carplay機能を使うには、iPhone iso12.0以降が必要です。
- b) ご利用する商品はCarLetterアプリには一度接続したことで、Bluetooth接続次第、自動でCarPlayに切り替る仕様になります。

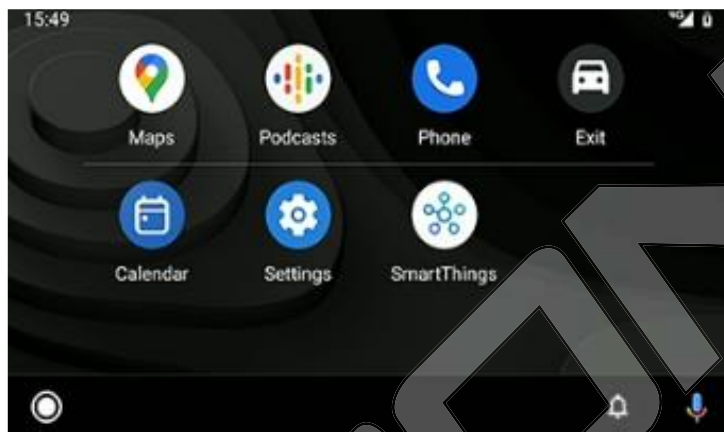
自動接続をOFFにする手順：

スマホと接続されていない状態で、CarLetterアプリを開けて、画面右下の「」をタッチします。

設定画面の「自動接続」をOFFにしてください。

- c) Carplayの接続を切る場合、スマホのWIFIをONにしてください。

Androia auto（有線/無線対応）



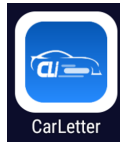
Androidの有線接続の手順：

- ① android スマホの Google Play ストアから「**Android Auto**」アプリをダウンロードします。
- ② android スマホの USB ケーブルで、ナビの任意1個のUSB 端子に接続します。もう一方の端子をスマートフォンに接続します。
- ③ 接続後、CarLetterアプリが自動的に起動します。スマホ側にAndroid Auto利用の許可の表示が出て、OK にすれば、スマホの画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)。

Androidの無線接続の手順：

- ① android スマホの Google Play ストアから「**Android Auto**」アプリをダウンロードします。
- ② スマホ側のモバイルデータ通信を使う。(4G 回線のみ対応可)
- ③ スマホとカーナビの Bluetooth 機能とペアリングする。
- ④ Bluetooth接続後、ホーム画面のCarLetterアプリが自動的に起動します。スマホ側にAndroid Auto利用の許可の表示が出て、OK にすれば、スマホの画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)。

ミラーリング



本機にはミラーリング機能と iPhone Carplay/Android Auto 機能も内蔵されています。

但し、上記の二つの機能は、同時に使うことができません。
ご了承ください。

iPhone をご利用の場合



- iPhone 側のネット共有を ON にしてください。
設定→モバイル通信→インターネット共有をオンにします。
- 本機の設定の WiFi リストから iPhone のホットスポットを選択し、パスワードを入力して接続します。(パスワードは、スマホ側でご確認ください)
- 接続成功の場合、iPhone 側 AirPlay(画面ミラーリング)を ON にすれば、ミラーリングできます。

Androidスマホをご利用の場合





- a. 本機のCarLetterアプリ→androidミラーリングモードに切り替え→右下出る「CLICK HERE」→画面に出るQRコードをスキャンして、スマホでCarLetter Castアプリをダウンロードしてください。



- b. スマホ側のCarLetter Castアプリを開けて、画面指示通り、スマホのBluetooth、ホットスポットをそれぞれ本機と接続してください。

- c. 接続完了後、画面下にあるミラーリングアイコンを押して、ミラーリングができます。

ご注意：

ミラーリングをご利用時、普通の動画アプリが対応できます。但し、ネットの動画アプリとの相性、アプリ自体の設置や制限によって、対応できない動画アプリもあります。ご了承ください。

ナビゲーション

1、4G/Wifi を利用して Google map などのネット地図アプリがインストールできます。

2、弊社別売りのゼンリンオフライン地図カードも対応可能です。

購入希望の場合、メールにてご連絡をお願いします。

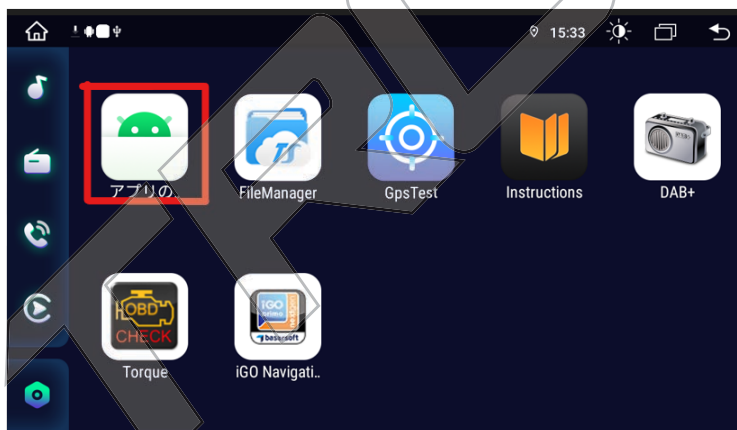
ゼンリン地図カードは、すでに同梱購入した場合、地図カードの使い方は、下記のとおりです。

- ① 地図カードをマイクロ TFスロットに挿入します。
- ② 専用【カーナビ】アプリのインストールが必要となります。
- ③ アプリのインストール手順：

地図カードが TFスロットに挿入後→ホーム画面の【アプリのインストール】アプリ→画面の左側に【Install】アイコン→リストから【カーナビ】を押してください。

【カーナビ】インストールの提示が出て、インストールすればよろしい。

(下記添付写真をご参照)



- ④ カーナビアプリがインストール後、アプリ開けて、オフライン地図が利用できます。

インターネット接続

ウェブサイトを開覧したり、Google Play ストアからアプリをダウンロードしたり、オンラインゲームを遊んだりできるようになります。車の中でインターネットを使えば、可能性は無限です。

WIFIテザリング

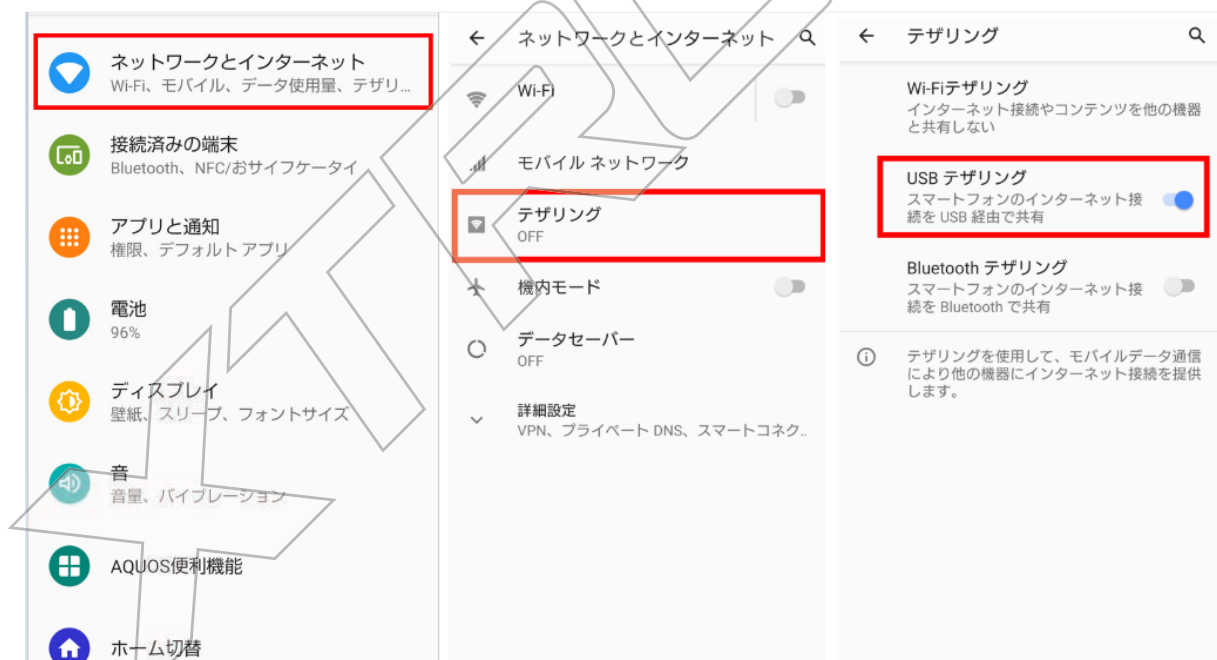
WIFI機能内蔵、スマホのホットスポットと接続可能。2バンドWIFIをサポートし、より高速でより安定した接続を実現します。


USBテザリング

＊USB テザリングが対応できるように、下記のことをご確認をお願いします。

Android スマホの場合：


Androidの場合はいろんなメーカーから提供されています。それぞれ機種ごとに設定画面などが違う場合がありますが、大体同じ様な流れで設定出来るはずですので、下記を参考にしながら設定してみてください。



1. Android スマホバイルデータ通信を使い、設定アプリを開き、メニューから「ネットワークとインターネット」を選択します。
2. 「テザリング」を選び、「USB テザリング」を ON にします。
3. Android スマホの USB ケーブルをナビの USB スロットに挿入します。
4. 本機ホーム画面の上側【】マークが出ると、USB テザリングが成功になり、ネットに繋がることができます。

iPhone の場合：



- 1、本機ホーム画面の【設定】→【カーインフォテイメント】→【端末情報】→パスワード：8878を入力→【others】→【iphone eth】を「Enable」に設定してください。（√を入れてください。）
- 2、iPhone側のモバイルデータ通信を使って、【設定】をタップして、【インターネット共有】→【ほかの人の接続を許可】をオンにしてください。
- 3、iPhoneの純正のUSBケーブルをナビ側のUSBスロットに挿入します。画面に【信頼】や【許可】という表示が出て、OKにしてください。
- 4、本機ホーム画面の上側【】マークが出ると、USBテザリングが成功になり、ネットに繋がることができます。

4G LTE 通信(4G ネットワーク)

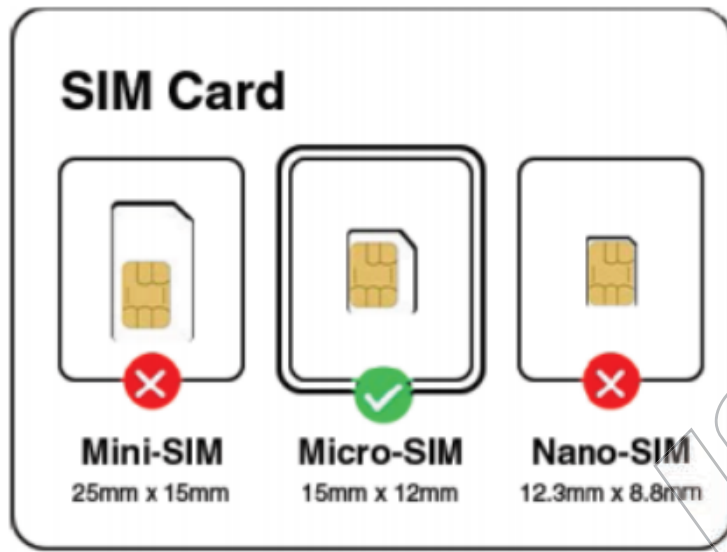
テザリング対応可能以外、4G/LTE 通信モジュール内蔵により、独立の4G ネットワークは他デバイスに接続せず、より簡単で安全でインターネットにアクセスができます。

ご注意：

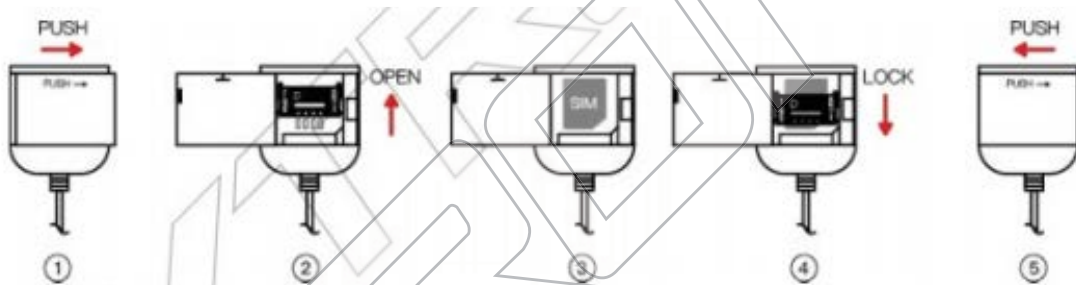
※NTT ドコモと Softbank 回線をサポート、au 回線は非対応。

※マイクロ SIM カード (15mm×12 mm) のみ対応。

※他通信キャリアは周波数帯域や地域などで対応できない場合があります。



4G インターネットを使用するには、次の手順を参照してください。



- ① SIMカード用ケーブルを見つけ、右の方向へ押し、ロックを解除し、蓋を開けます。
- ② クリップを上へ押し、クリップを持ち上げて開きます。
- ③ マイクロSIMカードを正しい方向に挿入します。
- ④ クリップを閉じてから、クリップを上下へ押し、ロックします。
- ⑤ 蓋を閉じ、左の方向へ押し、ロックします。

SIMカードを設置してもネットに繋がらない場合、

次の手順を参照してAPNを設置してください。

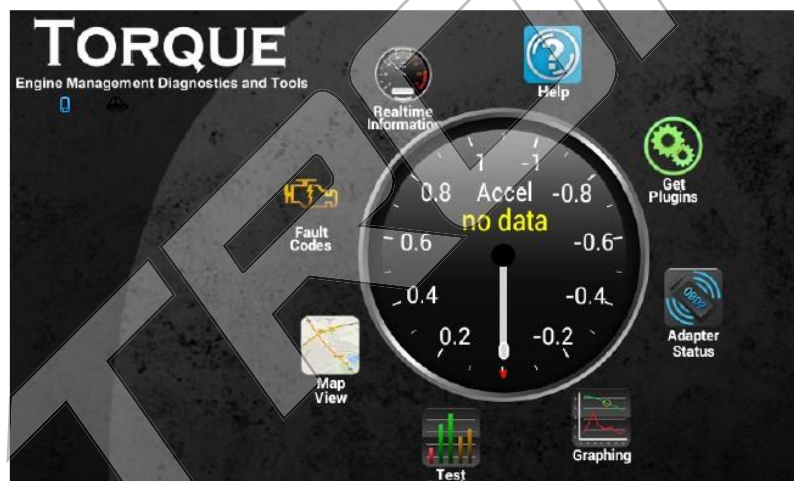
【設定】 - 【ネットワークとインターネット】 - 【モバイルネットワーク】 - 【詳細設定】 - 一番下に【アクセスポイント名】をタッチし、右上の+をタッチして、アクセスポイントの編集に入って設置してください。

オプション品

OBD2

本機は、自動車の自己診断機能（OBD2）をサポートしています。OBD 診断アプリ「トルク（Torque）」で車のリアルタイムデータや故障コードを読み取ることができます。OBD2 アダプターを対応ポートにさして、電圧、油温、水温、エンジン負荷などのデータをアプリ「トルク（Torque）」に表示できます。

* OBD2 アダプターは別売りです。



DVR

DVR（別売り）の設置により、走行中のあらゆるイベントをキャッチでき、衝突記録なども保存できます。

* DVR は別売りです。

TPMS

タイヤ空気圧監視システム（TPMS）を正しく取り付けした後、センサーはタイヤの空気圧と温度を自動的に監視し、リアルタイムの統計情報を受信器に送信して、車両のリアルタイムデータを本機のディスプレイに表示できます。継続的にタイヤの空気圧と温度を測定することで、運転中の安全性を高めることができます。

* TPMS は別売りです。



設定 (settings)

まず、ホーム画面の言語を日本語に設定してください。

設定方法：[settings-system-languages&input-languages-Add Language](#) を日本語に選定、日本語を1番目の順に設定後、言語が日本語になります。



1、ネットワークとインターネット

1.1 Wi-Fi

Wi-Fiをオンまたはオフにします。

ネットワークの選択：

接続したい端末（アクセスポイント）をタップします。セキュリティーが設定されている場合、パスワードを入力して接続を行います。

1.2 データ使用量

1.3 アクセスポイントとテザリング

2 カーインフォテイメント



2.1 一般

2.1.1 スリープモードの ON/OFF の設定ができます。

2.1.2 タップ補助

2.1.3 リバースボリューム抑制

バック時、メディア音声の強弱が調整できます。バック時、メディア音声の大きさが正常に出すには、中/強に選定してください。

2.1.4 起動ロゴ

パスワード「5678」を入力して、LOGO 設定画面に入ります。

お気に入りのロゴを選び、「Sure to update」提示が出て、「OK」をタッチしてください。設置完了後、エンジンをかけて、起動ロゴが出てきます。

2.1.5 すべての設定をリセット

2.2 画面表示

2.2.1 昼間のバックライト設定

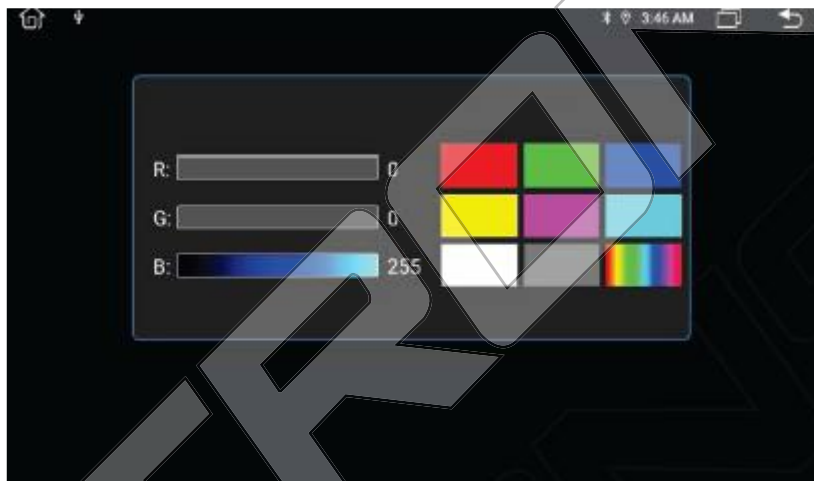
2.2.2 夜間のバックライト設定

2.2.3 自動調整

2.2.4 キーライトカラー

モニターのキーのイルミネーション色をお好みに合わせて変更することができます。

キーを点灯させる手順：ボタン色を選定後、ナビの後ろ側のイルミネーション配線を車側のヘッドライトのプラス極に繋ぎ、夜、ヘッドライトをつけると、キーが点灯します。

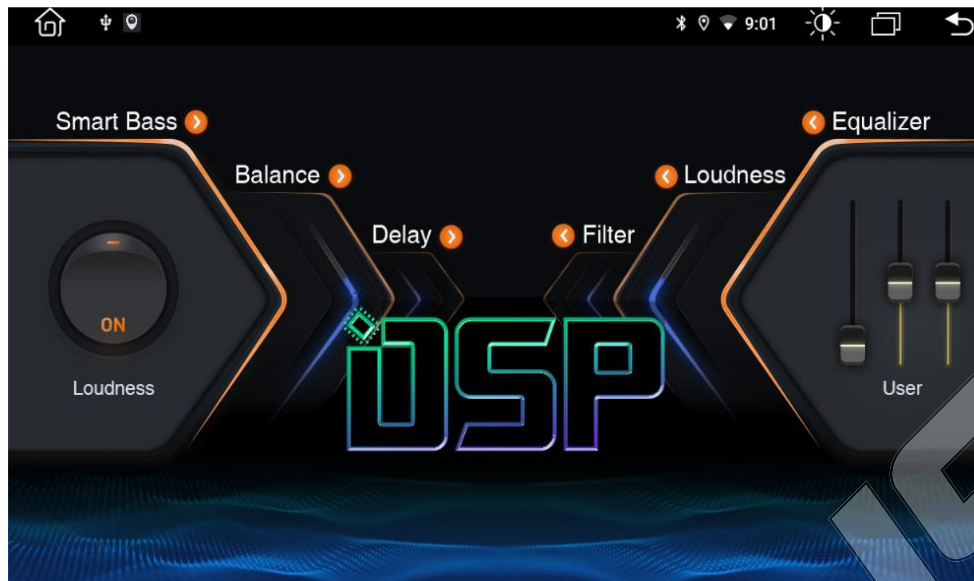


2.3、音量

「メディア音量」「Bluetooth call Volume gain」などの調整ができます。

2.4 音声オプション

DSP 音声の効果の調整ができます。



2.4.1 スマートなベース: 低音効果をさらに強化

2.4.2 バランス: 車の前後左右スピーカーのバランスが設定できます。

2.4.3 Delay: さまざまなスピーカーからの音が届くように、音の遅延時間を調整します。

2.4.4 フィルタ

2.4.5 ラウドネス: お好みの音質の周波数を設定できます。

2.4.6 EQ: イコライザーで、音声を 32 Hz~20 kHz まで調整可、30 バンドと 5 プレゼンスされた EQ を選択でき、最適な音響を徹底追求。

2.5 ビデオ

2.5.1 【運転中のビデオ鑑賞は、禁止されています】の ON/OFF が設定できます。

オン: 走行中にはテレビやビデオ映像が表示されません。

オフ: 走行中でもネット動画やテレビやビデオ映像が表示されます。

2.5.2 リア補助線

2.5.3 リア警告線

2.6 ナビゲーション

2.6.1 ナビパス(ファイルパス)を選択

2.7 Bluetooth

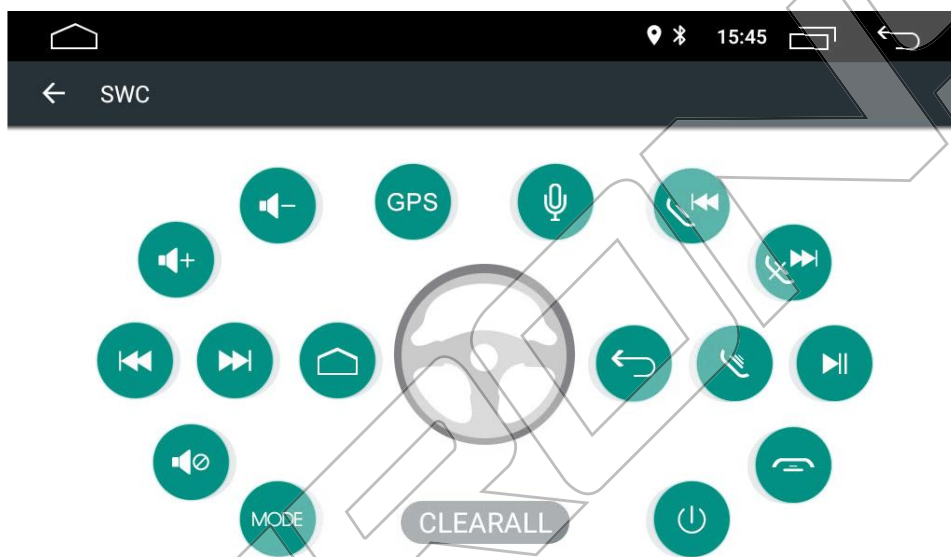
自動接続/自動応答の設定ができます。

2.8 ステアリングコントロール

ハンドル上のボタンはステアリングモードでのアイコンをペアリングして、ハンドルでコントロールできます。

まず、ステアリングの配線をご確認ください。

- ① 車両側から 2 本のステアリングスイッチ配線の場合、
 - 1 本のアース配線を商品の黒いアースコードに繋いで下さい。
 - もう 1 本のステアリング配線を商品の KEY1 に繋いで下さい。
- ② また、車両側から 3 本のステアリングスイッチ配線の場合、
 - 1 本のアース配線を商品の黒いアースコードに繋いで下さい。
 - 他の 2 本のステアリング配線を商品の KEY1、KEY2 に繋いで下さい。



配線のことを確認した後、

【設定】→【カーインフォテイメント】→【ステアリングコントロール】を押してから、設置モードに入り、全てクリアを押して、下記のようにボタンを設定してご確認ください。

- ① ナビ画面の機能ボタン(例えば音量+)を押してから、画面中の音量+ボタンがブルーに点滅して、この時、車側の適応のステアリングのボタンを押すと、画面のボタン色が点滅せず、ブルーになります。
これはボタン設置完了です。
- ② 他のボタンは①のように設置すればよろしいです。

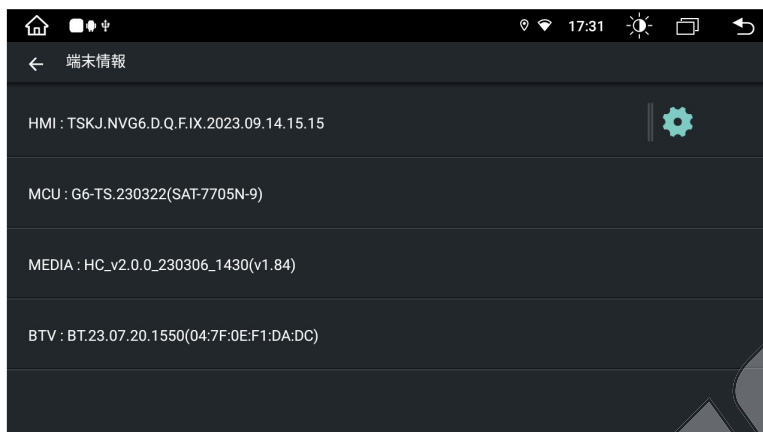
添付動画をご参照ください。

<https://youtu.be/9T1IoPfMk6k>

また、車種によって、ステアリングコントロール機能が対応できない場合もあります。ご了承下さい。

2.9 端末情報

商品のバージョン情報（MCU）が記載されています。



右上側の設定アイコンをタッチして、パスワード：**8878**を入力して、工場モードに入ります。

ご注意：工場設定モードの各項目は任意に変更しないでください。任意に変更すると、一部の機能が使用不可になる恐れがありますので、ご了承ください。

3、アプリと通知

最近開いたアプリが確認できます。

また、インストールされたアプリを管理します。

4、ストレージ

内部ストレージの使用状況と空き容量が表示されます。

「空き容量を増やす」をタップして、不要なアイテムが削除できます。

5、メモリ

内部メモリの使用状況と空き容量が表示されます。

6、アカウント

7、Google サービスと設定

Google アカウントのログインなどができます。

8、システム

8.1 言語と入力

8.1.1 言語

本機の表示言語を設定します。

日本語、英語、中国語などを追加して、設定できます。

設定方法：Settings-system-languages&input-languages-Add Language を日本語に選定、日本語を1番目の順に設定後、言語が日本語になります。

8.1.2 仮想キーボード

デフォルトキーボードは Android キーボードです。インストールされているキーボードを管理できます。

日本語専用のキーボードが内蔵されていないため、日本語の入力をご要望の場合、Play ストアから【Google 日本語入力】アプリをダウンロードしてご利用おすすめてです。

8.1.3 物理キーボード

外付けキーボードを設置します。

8.2 日付と時刻

8.2.1 日付と時刻の自動設定：下記の選択肢があります。

- ネットワークから提供された時刻を使用する
- GPS から提供された時刻を使用する
- OFF

ご注意：上記の【OFF】にして、下記【日付設定】 / 【時刻設定】が手動調整できます。OFF 以外に選ぶと、手動調整できません。

8.2.2 タイムゾーンの自動設定—ON/OFF の設定ができます。

(ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する)

8.2.3 日付設定

8.2.4 時刻設定

8.2.5 タイムゾーンの選択：

「タイムゾーンの選択」を「GMT+9：00 日本標準時」に選定して下さい。

ご注意：上記の 8.2.2 【タイムゾーンの自動設定】を OFF にしないと、タイムゾーンの手動調整ができません。

8.3 デバイス情報

商品の android モデル/android バージョン/ビルド番号情報などが記載されています。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、下記のご確認をお願いします。

電源が入らない

- ① エンジンがかかっていない。エンジンを ON にしてください。
- ② 接続ケーブルが正しく接続されていない。ケーブルの接続をご確認ください。
- ③ ヒューズが切れている。切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換します。
- ④ ご自分で操作できれば、全ての配線を取り外した後、まず、商品の 3 本の電源配線だけを仮設置してテスト下さい。

他の配線は絶縁ままにします。

赤コード：ACC（アクセサリー）に繋ぎ、

黄色コード：バッテリー電源のプラス極に繋ぎ、

黒コード：アースに繋がります；

電源配線 3 本接続後、機体が正常に起動させるかどうかをご確認ください。

音が出ない

- ① 音量が小さくなっている。音量を調整してください。
- ② 4 組のスピーカーの配線が正しく接続されていない。配線の接続をご確認ください。

SD/USB/TV/ネット動画の画面が音声が出て、映像がな

し、画面に：「!WARNING PLEASE STOP WATCH VIDEO

PLAYER」表示が出る

走行中に映像が映るには、下記のように設定してください。

手順：設定→カーインフォティメント→ビデオ→【運転中ビデオを見るのが禁止されます】を「オフ」に選定

設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

ラジオ受信感が悪い

- ① アンテナケーブルの接続不良があります。アンテナケーブルの接続をご確認ください。
- ② 周りに障害物があって、受信感が良くない。受信状態安定の場所でもう一度ご確認ください。
- ③ 放送局の電波が弱い。受信ブースター（増幅器）を設置することが必要となるかもしれません。
- ④ アンテナが破損しました。破損したアンテナを交換してください。

GPS 測位ができない

- ① 3つ以上のGPS衛星からの信号を受信できない場合、GPS測位ができません。
- ② 走行状況によっては、GPS衛星からの信号が車両に届かない場合があります。この場合、GPS測位ができません。
- ③ GPSアンテナの近くで携帯電話を使用すると、一時的にGPS受信ができなくなる場合があります。
- ④ アンテナケーブルの接続不良があります。アンテナケーブルの接続をご確認ください。

連絡先

弊社商品は、出荷日から普通に1年の保証付き、商品のご利用に何かご不明な点がございましたら、下記弊社メールアドレスにご連絡後、対応いたします。

E-mail(メールアドレス): xtrons_jp@xtrons.com

